

コロナ禍の中で、遂に

理事長 大浦 純平



去年1月に国内での感染が確認されて以来、1年8ヶ月が経過しました。第4波が過ぎ、このまま収束に至るのではないかと希望を抱きましたが、残念なことに変異株の出現も相まって第5波にさらされることになってしまいました。

この間、保護者の皆様にご協力いただきながら、何とか通常時間帯の保育を実施して頂くことができました。また、普段の保育や行事を工夫しながら園児たちの心に残るものを実践してまいりましたし、検温や消毒、空気清浄のための機器類を多く導入し感染防止に日々努めています。この間、所轄官庁からも機器購入の補助金が予算化され大いに助かりました。さらに、ワクチンの優先接種も実施され励みにもなりました。

ところが、8月4日、遂に法人傘下の「新宮つばみ保育園」において職員1名が外部感染し、保健所の調査により何人かの職員が濃厚接触者とされ、「新宮町」からの要請で**緊急休園**（医療従事者や一人親世帯は除く）となりました。しかし、保護者の皆様のご協力のおかげで、その後の消毒や連絡調整などの対応はスムーズに経過し、クラスターの発生を抑えることができました。この間、職員1名の職場内感染がありました。園児への感染は認められず、8月18日に通常保育に戻ることができました。

現在の状況では如何に注意を払っても、絶対繰り返さないとは断言できません。今回のことを学びとして、職員一人一人が私生活で感染予防をすることは勿論のこと、各園で感染対応マニュアルの見直しと再確認をしているところです。

まだまだ、この状況は続くものと思えます。保護者の皆様もお仕事によっては大変な状況を抱えていらっしゃるかと推察致しますが、とにかくこの状況を乗り越えるしかありません。こんな中でも、私共はお子さんの保育をさせて頂くことにより、保育理念として掲げている「**皆様の子育てに夢と力を**」の実現に努力を惜しまない覚悟です。 一緒に頑張りましょう。



つばみ保育園年報 第24号

2021年(令和3年)9月7日 発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会
つばみ保育園

〒813-0044 福岡市東区千早1-18-24

<http://www.hojinkaided.jp/tsumomi/>



先日、久々に事務室にて6時前頃のお迎え時の光景を眺め、変わりように驚いたものでした。その静かなこと。確かに大勢の方が立ち替わり来られ、お子さんを連れて園を出られるのですが、送迎はお一人ごとか滞在時間を短く、おしゃべりは誰で「など」とお願いしている結果です。思えば昔はとも賑やかな時間でした。子どもの声はもうろん、保護者の方と職員とや、保護者の方向士、交わす挨拶や一日の報告、共感し合う声が沢山聞こえ、慌ただしく

はあつたけど一日のお仕事を無事終えて気持ちが良い家庭に向かう、ほっとする時間であったと思います。今人々はマスクを着け距離を取り

変ってしまった景色

統括次長 大浦まゆみ
(元 新宮つばみ保育園園長)

保育園でこんなことがあつたよ、と沢山伝えたい、保護者の方に見えないう所での子どもたちの姿をお見せしたい、との思いで各園でできることを模索しています。保護者の皆さんも話したいことを沢山お持ちください。どうしてもの時は「遠慮なく電話やお手紙で」相談ください。また元の日常が戻り沢山おしゃべりでき音楽祭で歌える、その日が来るのを祈るばかりです。



#せんせいありがとう

2021年度 父母の会 会長 河島 孝



新秋の候、皆様におかれましては未曾有の災禍の中、大変なご苦労をされておられることと案じております。平素より父母の会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年度で会長2年目となりますが、OB・OGの皆様の素晴らしい軌跡を引き継いでいけるよう一層の精進を重ね、子どもたちや保育園のために邁進して参りますので、今年度もよろしく願いいたします。

さて、今年度の父母の会のスローガンは「**リアクション(o)b大作戦〜やれるときに、やれる人が、やれることをやろう〜**」です。マスク着用の毎日で、なかなか表情を見せることが出来ません。こんな状況だからこそ、うなずきやあいづちの回数を増やしたり、アイコンタクトや身振り手振りをしたり、リアクションを意識して楽しい生活を送っていきたく考えています。子どもと共に、家庭と共に、仕事と共に、「たのしい共育」を実現させ、この困難を乗り越えていきましょう。また、今年度も「友愛セール・バ

ザー」は、中止とさせて頂くこととなりました。皆様とお会いできる機会が減ってしまったことについては、大変残念に思っています。引き続き、健康と安全管理へのご協力をお願いする中ではあります。今後とも父母の会活動にご理解とご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

先生方におかれましては、感染症をきっかけに様々な変化があり負担が増えたのではないかと思います。色々の活動が制限されている中で、行事等形は変わっても実施して頂いております。子どもたちが楽しく園に通い、私たちが安心して仕事が出来ると先生方のおかげです。心より感謝申し上げます。私たちも、子どもたちがのびのび過ごせる環境づくりに取り組んで参ります。

希望する全ての人に一日でも早くワクチン接種が進み、今度こそ新型コロナウイルス感染症が終息することを祈るばかりです。このような状況の中ではありますが、皆様のご健康と、益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

七月末に中間市の保育園で起きた送迎バスに園児が閉じ込められて死亡するという痛ましい事故は、安全管理の甘さが原因でした。安心安全を求められる保育園では、あつてはならない事故でした。

すぐにつばみ保育園でも、園児の出欠確認や人数把握の方法などについて確認し合いました。そして、無連絡欠席者との連絡が曖昧になっていることを反省し、欠席理由の確認を確実にするよう改めました。

また、土曜日はご家庭で過ごす園児が多いので欠席連絡をしなくてもよいことにしていました。が、事前に土曜日の出欠調査をするにしました。事前に出席人数を把握することは、食品ロスの削減にもなります。

安心・安全と保護者・子育て支援

園長 小島千枝



しかしこの出欠調査をすることで、保護者の方がお休みの場合に、お子さんを預け難くならぬかと心配する意見がありました。

保育園は開園している以上、保護者のご希望があれば園児をお預かりしますし、お休みされるのも保護者の方の自由です。就労されている方は休日にはできないこともあるでしょうし、仕事と育児から離れてリフレッシュすることも必要だと思っております。

■コロナ対策



①顔認証体温測定器を導入しました。
玄関に2台設置しています。登降園時に必ず保護者やお子様様の体温を測ってもらい、外部のお客様にも協力をお願いしています。



②アルコール消毒の徹底
アルコール消毒立てを玄関の外に2台と職員玄関に1台、そして各部屋にセンサー付きの消毒を置いてあらゆる場所で消毒できるようにしています。



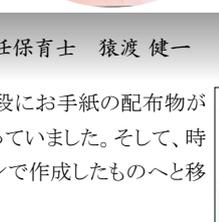
④エアドシング購入
広い空間でもきれいにしてくれる高性能の大型空気清浄機を遊戯室に設置しました。



③青組音楽発表会なみきホールで実施
クラス別保護者の集いを開催
昨年度の三園合同音楽祭は中止となりましたが、なみきスクエアのホールを借りて、つばみ保育園単独で青組音楽発表会をしました。

■翻訳機を導入しました
グローバルな対応として翻訳機を事務室に置いてあります。外国語を話す方とのコミュニケーションがスムーズになると思います。

■メダカ健在！
毎日餌をやり、水を定期的に変え世話をしているうちにたくさん増えてきました。子どもたちの観察用として保育に役担っています。職員の癒しにもなっています。



■駐車場には警備員さんがいます
今年度より保護者駐車場に警備員さんが立つようになりました。朝8時から9時までと夕方16時30分から18時30分までの1日2回誘導や整理をして下さっています。ご近所迷惑の防止や渋滞緩和、ルールの徹底などでも助かっています。



■分園の床を張り替えました
2010年1月の開園から10年を超えた第2つばみ保育園分園。床の傷みが目立っていたので今年5月に床を全面張替えしました。心機一転新しい部屋で保育が出来る喜びを実感しています。



『コロナ禍の保育園』

主任保育士 西村 美香

新型コロナウイルス感染の脅威で私たちの生活ががらりと変わりました。発生当初は見聞きする情報を手あたり次第キャッチし、職員間で予防策を出し合いました。ピリピリとした中、検温、消毒の徹底、換気、健康管理、咳をするのも周りの目を気にし、「熱が出たらどうしよう…」と、胃が痛くなるくらい気を使いました。保護者で医師をされている内田さんが、「いつでも先生たちにお話をしますよ。」と、お声掛け下さり、直ぐに時間を調整、職員多数間隔を開けての参加で学習会を設けて頂き、正しい知識、すべきこと、気を付ける事等を学びました。すぐに消毒や換気等のチェック表を作り、現在も徹底して行っています。



↑食事前の消毒



↑少人数で入ってます

日々の保育では、子どもたちに離れて遊ぶことを要求するのは難しいので、換気や消毒をこまめに行っています。

おたのしみ会では、会場であつたを歌わず、各部屋で歌ったり、プールあそびでは一クラスを半分に分けて行ったりしています。また、排泄後、食事前の消毒を徹底するよう大人が援助しています。子どもたちは、私たちが予測していたより、柔軟に今の生活を受け止め過ごしています。

行事内容を見直すために会議を何度も設け、検討を重ねました。内容の変更や縮小が余儀なくされますが、これまで築いてきた自分たちの思いを残しながら、子どもたちが満足し、保護者の方に納得してもらえるような形にするために知恵を出し合いました。そして、保護者の皆様の温かい協力の下、いくつもの行事を実施することができました。コロナ蔓延防止の為、今まで当たり前に出ていたことが難しくなっています。しかし、この逆境だからこそ、今まで行っていた事の意味や内容を見直し、限られた時間の中で工夫して出来る事を見つけ、今に至っている事は、有難い時間として前向きに捉えています。これからも、気を引き締め、コロナ感染への予防を行うと共に、子どもたち、保護者の皆様、職員一同が心も身体も元気で過ごせるよう努めていきたいと思ひます。

2021年度 職員一覧

(9月1日現在 61名)

園長 小島 千枝

本園			
主任	西村 美香・猿渡 健一		
給食主任	福島 千春		
事務主任	大浦 理絵		
もも組	津田 豊子・幾野 良恵 船越 咲・宇佐美 敦子 川口 ますみ・佐藤 結菜 吉田 優惟・越治 和代 田村 明子・星野 由起 米村 美智子		
	うめ組	福崎 夏弥・中北 由里 大川 未来・藤田 実里 秦 祐美・小田 晃子 清水 淳子・野崎 絵美	
	さくら組	石田 美里・松本 達則 濱田 麻衣・大住 萌 松崎 征子・原 真理子 小西 真弓・岩永 松枝 大江 典子	
		すみれ組	呼子 茄穂・柴田 彩佳
		れんげ組	松島 千華・長田 佑佳
つくし組	松本 夏希・松本 綺羅星		
わらび組	木之下 文・柴田 彩佳(*)		
なずな組	石橋 優希・富成 真樹子		
給食員	福島 千春(*)・城戸 奈緒 河津 和美・岡崎 千代 久保 淳子・上田 愛 造士 恵美・松浦 美智子		
	用務員	岩崎 直子・堤 涼司	
	【産休中】	折居 香織	
分園			
分園主任	富川 京子		
保育士	内田 久子・大塚 菜央 田中 孝子・富永 真理子 田中 富美子・野田 美和子 阿部 俊子・野中 智子 福徳 春香		

(*)は再掲

2021年度 父母の会役員

会長 河島 孝(わらび)		
副会長	濱田 泰暢	(すみれ)
	上福元 千愛	(つくし)
会計	山田 暢子	(なずな)
	渡邊 つくみ	(なずな)
書記	川越 亮治	(つくし)
	吉浦 未貴	(もも)
監事	庄崎 万梨恵	(さくら)
	山田 絵里香	(つくし)
委員	山中 隼也	(うめ)
	鄭 高静	(うめ)
	石井 竜之有	(うめ)
	牧瀬 縫	(すみれ)
	リ アナン	(すみれ)
	高野 祥子	(れんげ)
	米田 聖香	(れんげ)
	有富 智子	(つくし)
	安部 美由紀	(わらび)
	筧 哲弘	(わらび)
おやじの会	永田 恵理	(なずな)
	秦 英敏	(わらび)

今後のお手紙のあり方 主任保育士 猿渡 健一

保育園から保護者の皆様へのお知らせ伝達手段にお手紙の配布物があります。過去を振り返るとお手紙は手書きで行っていました。そして、時代の流れに応じてワープロで打ったもの、パソコンで作成したものへと移行してきました。

現在保育園の働き方改革としてICT化が進み、手書きの書類等がパソコンやタブレットを使って入力デジタル化となったり、書類のハンコレス化になったりして、私たち職員も悪戦苦闘しながらようやく慣れてきた感じがです。そして、いまま少しずつ取り組んでいるのがお知らせのお手紙を各ご家庭のスマホで見ていただくというものです。給食の献立や園の行事の出欠に関する事、お盆の出欠伺いなどは、すでにこの形でさせていただきます。さらに9月からは園だより「ひこうきぐも」、各クラスの「クラスだより」もペーパーレス化となっていきます。



「ホームページの保護者専用ページ」

Copyright © 1990-2019 Hojinka. All rights reserved.

「ほじんメールアツリ」
「ほじんメール」で通知のお知らせをし、ホームページ上の「保護者専用ページ」で手紙を見ていただくという流れを今一度ご理解いただきたくここで記しました。

